

2017年6月21日

日本生命保険相互会社

神奈川県大和市での大型物流施設の建設について
～当社の首都圏での大規模物流施設開発第一号案件～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、三機工業株式会社（社長：長谷川勉、以下「三機工業」）が神奈川県大和市で所有する土地（以下、「当土地」）を借地し、大型物流施設（以下「当物件」）を開発することで合意に至りました。今後、テナント募集を進めてまいります。

当案件は、大阪府松原市、東大阪市での開発に続く、当社の3件目、首都圏では初の大規模物流施設開発となります。神奈川県内陸エリアの物流施設のニーズは非常に強く、また当物件は、5階建、延床面積約96,255㎡と当社として過去最大規模の開発を予定していることから、高い競争力を有します。当物件の開発を通じ、三機工業のCRE戦略（企業不動産の有効活用）にも寄与するとともに、国内物流網の効率性の改善に貢献してまいります。

当土地は、国道16号、東名高速の結節点である「横浜町田インターチェンジ」より約3kmに位置し、周辺地域から首都圏広域まで、幅広くカバーすることができる利便性の高さが特徴です。また、東急田園都市線「中央林間駅」および小田急江ノ島線「南林間駅」から徒歩圏内である等、テナント企業が雇用を確保しやすい環境にあり、高い需要が見込まれ、安定的な収益確保が期待されます。

なお、当社は新中期経営計画「全・進・next stage」（2017-2020）において、4年で1.5兆円の成長・新規領域への投融資を目指しており、物流施設も成長・新規領域への投融資の一つと位置づけています。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、成長・新規領域への投融資を強化することで、ご契約者様の利益の一層の拡大に努めるとともに日本経済・産業の発展に寄与してまいります。

<施設概要>

所在地 神奈川県大和市下鶴間
 敷地面積 約 41,300 m² (約 12,500 坪)
 延床面積 約 96,255 m² (約 29,117 坪)
 構造規模 柱：鉄筋コンクリート造 梁：鉄骨造 地上5階建
 竣工予定 2019年11月

<広域図>



<近郊図>



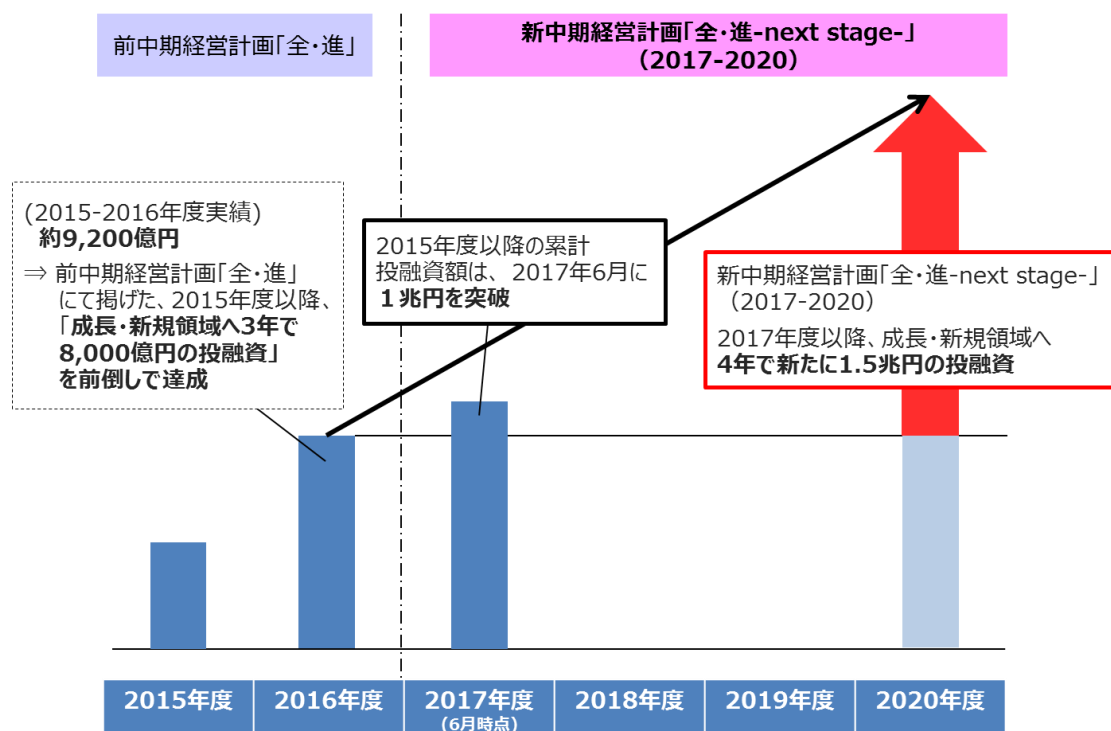
<外観イメージ>



(ご参考) 成長・新規領域への投融資状況について

当社は前中期経営計画にて掲げた目標「成長・新規領域へ 2015 年度以降の 3 年で 8,000 億円の投融資」を 2016 年度に前倒しで達成し、2017 年 6 月時点での投融資累計額は 1 兆円を突破いたしました。今年度よりスタートした新中期経営計画「全・進-next stage-」(2017-2020) では、社会公共性・投資採算性を踏まえながら、4 年で新たに 1.5 兆円の成長・新規領域への投融資実行に向けて取り組んでいます。

成長・新規領域への累計投融資額 (イメージ)



以上